

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒 元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

奥武蔵 伊豆ヶ岳—旧友とヤジキタ道中—

子ノ権現からの伊豆ヶ岳(右)と古御岳(夏)



2月中旬、奥武蔵・伊豆ヶ岳(851m)に出かけた。同行は久しぶりに会った旧友のM氏。歩きながらの昔話に、終日、話は尽きることがなかった。

今回の山行は、伊豆ヶ岳から子ノ権現を結ぶ尾根歩きコースとした。西武秩父線正丸駅を9時出発、大蔵山集落の舗装道をテレコンテレコン登る。途中、朝の散歩のオバアチャンと道連れになり、歩きながら何やかやと屈託ないオシャベリに興じた。9時半、馬頭観音でオバアチャンと正丸峠道に別れ、左の登山道に入る。最初はスギ林の中ののんびりした登りが、カラ沢を渡る頃からジグザグの急登になる。5~6cmの縮まった積雪のおかげで、滑ることもなく快適な登りである。やがて明るい小尾根の登りになり、間もなく男坂と女坂の分岐に出た。急な岩場の男坂入口に危険防止の進入禁止標識があったので、小生の判断で右手の女坂コースを選んだが、岩

伊豆ヶ岳山頂



場大好き人間のM氏はいかにも未練がましい風情だった。11時15分伊豆ヶ岳到着。展望抜群のはずの山頂だが、今日はドンヨリ曇って残念ながら視界ゼロ。若干の休憩

の後、早々に古御岳に向かった。急傾斜の下りと登りをこなし、12時古御岳頂上到着。小広い山頂にはアズマヤやベンチがあり、数組の先客が弁当を広げている。我々も、バーナーを焚いてゆっくり昼食談笑タイムを楽しんだ。12時半出発で、高畑山、中ノ沢ノ頭、天目指峠を経由して子ノ権現に向かう。雑木林の中、延々と続く尾根道の登り下りにいい加減くたびれ果て、



古御岳山頂

15時15分、ようやく子ノ権現に到着した。この天台宗の古刹は足腰の

神様として有名で、境内には巨大な鉄のワラジが奉納されている。お賽銭を張り込んで、

今更ながら足腰の無事を祈る調子良さ。後は、西武秩父線吾野駅へとひたすら歩き、17時頃、秩父線のガードを潜り抜けたところでホームに入って



子ノ権現



大ワラジ

来る電車が見え、駆けに駆けて、発車間際の電車に飛び込んだ。最後は大声一番、発車寸前の電車を止めたM氏武勇伝的一幕でした。